

<令和8年度>

児童家庭支援センターすみれ 事業計画書

[重点目標]

児童家庭支援センターは、県及び市区町村との連携をもとに、早期支援を担う有力な社会的資源となることが求められている。例えば、妊産婦からの切れ目ないつながり、重症化を防ぐための迅速で柔軟な対応、そして、在宅支援から社会的養護の支援までの連続性のある子ども家庭支援である。これらの支援の中では子どもの権利擁護を尊重したものである必要があり、地域家庭のニーズや社会の流れに応じて、より高度かつ専門的な支援技術を獲得するため、幅広く職員の資質研鑽に努める。

1 職員の専門性・資質の向上

信頼される相談機関となるため、外部研修、内部研修に積極的に参加し研鑽を積む。この際、受講するだけでなく支援への実践にも力を入れて組織全体の資質向上を目指す。また、的確な支援を行うため、ケースを分析し、スーパービジョンを受ける。

2 事業内容の充実

児童・家庭への支援において、家族成員に変化が生じた場合は再評価を意識し、支援を迅速・的確に行うため、要保護児童対策地域協議会をはじめ、各関係機関との連携・連絡調整を行う。また、児童虐待防止の予防的な観点からの地域のニーズを把握し、活動の充実を図る。

[事業計画]

職員体制

正規職員 5 名（うち、広畑学園等兼務者 3 名）、パート職員 2 名 計 7 名

1 職員の専門性・資質の向上

(1) 外部研修の計画的な実施

○主な研修

- ・全国・近畿地区児童家庭支援センター協議会、子どもの虹情報研修センター等、その他里親支援や相談業務に関する研修

(2) 内部研修の計画的な実施

○主な研修

- ・センター内研修（面接技法、社会資源、法律等）、法人内事業所との勉強会、本体施設の事例検討会への参加、市町とのソーシャルワークスキル研修等

○人事評価制度の活用

- ・職務基準の理解を深め、業務の確認や見直しを行い各自の達成課題を持って取り組む
- 養育講座のトレーナー技術の向上
 - ・本体施設の新任職員へ向けて養育のスキルアップ講座を開講し、児童家庭支援センター職員として講座のトレーナー技術の向上を図る
- スーパーバイズ
 - ・本体施設で実施されるスーパービジョンへの参加、外部スーパーバイザーの活用
- (3) 子どもの人権・権利擁護への理解と実践
 - 子どもの人権に関する基本原則等について知識理解を深め、養育実践する
 - 個人情報保護
 - ・個人情報の保護に努め、対象者との安心・安全な支援関係を構築する

2 事業内容の充実

(1) 関係機関との連携・連絡調整

- 要保護児童対策地域協議会実務者会議（姫路市、福崎町、市川町）
- 要保護児童対策地域協議会代表者会議（福崎町、市川町）
- 要保護児童対策地域協議会個別ケース会議（姫路市、福崎町、市川町、神河町）
- 姫路こども家庭センターとの連携
- 管内県市町児童福祉担当課長・担当者会議
- 姫路市子育て支援室との連携
- 西保健センターとの連携
- 地域の学校・関係機関・SSW・主任児童委員・自治会との連携
- 全国、近畿、県児童家庭支援センター協議会
- 社会福祉士及び公認心理師実習の受け入れ

(2) 相談支援の充実

- 兵庫県からの指導委託
- 養育支援訪問事業（姫路市）
- 支援対象児童等見守り強化事業（姫路市）
- 地域からの相談支援
- ICT化等相談支援体制の充実

(3) 啓発・予防的支援

- 子育て広場
 - ・子育てライブラリーすみれ
 - ・地域開放日
- 学童対象プログラム
 - ・学童企画
 - ・本体施設地域健全育成事業（チャレンジクラブ）への協力

- 法人内外親子教室への職員派遣及び出張相談
 - ・山びここども園すくすく教室及びとことこ教室への参加
 - ・児童センター親子広場・個別相談会への参加（広畑、安室児童センター）
 - ・姫路市社会福祉協議会主催親子教室等（わくわくランド、やわたふれあいサロン）への参加
- 校区内交流行事への協力
 - ・地域子育て支援事業への協力
 - ・校区内こども食堂への協力
- ペアレントトレーニングの実施
 - ・地域子育て家庭向け講座の実施
 - ・姫路市子育て学習センターにおける講座の実施
 - ・本体児童養護施設等児童福祉施設職員向け講座の実施
- 虐待予防・啓発のための情報発信
 - ・機関誌すみれ通信（1回/3か月）の発行
 - ・ホームページ（行事予定；1回/1か月、行事報告；1/3か月）の更新
 - ・パンフレットの刷新する（500部）
- 発達支援
 - ・法人内外保育園等保育カウンセラー
 - ・児童発達支援事業所との連携
- 子育て支援短期利用事業
 - ・対象児童・家庭の状況把握と在宅時の支援について、関係機関と連携しながら行う
- (4) 里親支援
 - 関係機関との連携
 - ・里親支援センター希望の丘と連携（夜間休日等の緊急時の対応、定期的な会議の実施）
 - ・里親支援専門相談員、里親会、こども家庭センター等と協働し、里親サロン及び研修会等を実施
 - ・里親家庭に関する情報交換会、里親支援実務者会議及び圏内会議への参加
 - ・兵庫県児童家庭支援センター連絡協議会及び兵庫県児童養護連絡協議会里親支援部会との意見交換の実施
 - 里親里子への支援
 - ・播磨地区里親会登録里親に対する養育講座の実施
 - ・未委託里親及び養育里親宅への家庭訪問等の実施
 - 啓発活動
 - ・こども家庭センター、市町等と協働し啓発チラシのポスティング、市町図書館でのブース設定・相談会、里親出前講座等の里親普及啓発活動の実施
 - ・地域子育て支援広場等での啓発活動の実施